

(標準的なモデルであり、個によって指導内容が異なる)

教科等のねらい

- ・ 具体的な操作などの活動を通して、数量や図形などに関する初歩的なことを理解し、それらを扱う能力と態度を育てる。

主な指導内容

- ・ 身近にある具体物を数えたり、分類したりする。
(1～10の数唱/数字の読み書き/一対一対応/多少比較/形・色・大きさなどの分類/加減法の初歩)
- ・ 身近にあるものの大小・多少・長短などを比較する。
(具体物の直接比較/2つのものの比較/比較する対象による変化)
- ・ 基本的な図形や簡単な図表に関心をもつ。(名称・特徴、分類/生活の中の形探し/上下・前後)
- ・ 時計や暦の利用法について知る。(デイリーカリキュラム) (昨日・今日・明日/登校日・休日)

iPad や VOCA などの利用

評価方法

- ・ 児童一人一人の課題・指導内容に応じて4観点(①関心・意欲・態度、②考え方、③技能、④知識・理解)を基に評価規準を設定する。
- ・ 記録ファイルや提出物などで確認する。
- ・ 指導したことが身に付いたか、日常生活に生かすことができたか、複数名で評価する。

指導計画

月	単元名	指導内容(◎)	主な学習活動	評価の観点
4 5	「数えよう①」 【数と計算】	◎数の意味、数を用いること ・ 1～5の数唱 ・ 1対1のマッチング ・ 順序、個数	・ 具体物を教師と一緒に数える。 ・ 指しながら数えたり、対応させてものを配ったりする。	③
	「暦に親しもう」 【実務】	○暦 ・ 1週間 ・ 登校日(黒字)と休日(赤字)の区別	・ 数字や曜日を題材にした歌に親しむ。例;『数字の歌』『曜日の歌』 ・ 「123……10」、「月火……土日」をリズムよく唱える。 ・ カレンダーで今日の日付と曜日を確認する。	① ③ ②
5 6	「いろいろな形に親しもう」 【図形・数量関係】	◎三角形、四角形、円(丸) ・ それぞれ形の特徴と名称 ・ 形の弁別・分類 ・ 2つの角を合わせること、2つの辺を揃えること	・ それぞれの名称を言ったり、見本と同じ形を選んだりする。 ・ 簡単なゲームをする。(例;仲間集め、形神経衰弱) ・ 簡単な折り紙をする。(例;四角形の対角を折り合わせて三角形の鱗にする「鯉のぼり」)	① ③ ②③ ②③④
7 9	「数えよう② & 比べよう①」 【数と計算】	◎数の意味、数を用いること ・ 1～30の数唱 ・ 1対1のマッチング ・ 順序、個数 ○数の多少比較 ・ 「多い⇔少ない」の意味	・ 具体物を教師と一緒に数える。 ・ 指しながら数えたり、対応させてものを配ったりする。 ・ 簡単なゲームをする。(例;おつかい「○個持ってきて」、つみ木を使ったゲーム)	①② ③ ①

10 11	「いろいろな色に親しもう」 【数と計算】 【図形・数量関係】	◎色名（赤・青・黄・緑・黒など5色程度） ○色・形の統合と分解 ・色・形の属性の組み合わせ ・色・形の属性の抽出	・色を題材にした簡単なお話や歌に親しむ。（例；絵本『くれよんのくろくん』、歌『どんな色がすき』） ・具体物やカードを見て色名を言ったり、見本と同じ色を選んだりする。 ・簡単なゲーム（例；仲間集め、色神経衰弱）をする。	① ③ ④
11 12	「比べよう②」 【量と測定】	◎多少、長短、大小の比較 ・「多い・少ない」「長い・短い」「大きい・小さい」の意味 ・比較の仕方	・長さや大きさを題材にした簡単なお話に親しむ。 ・身の回りにあるものの長さ、大きさ（面積）を直接比べる。 ・簡単なゲームをする。（例；へびつなぎ）	① ②③ ④
1 2 3	「時間について知ろう」 【実務】	○時計 ・アナログ時計の簡単な動き ・「〇時」の読み方	・時計や時刻を題材にした簡単なお話に親しむ。 ・登下校（9時・3時）、給食（12時）など生活に関わる時刻を読む。 ・学習の始まりと終わりの時計表示を確認する。	③ ④
	「数えよう③」 【数と計算】	◎数の意味、数を用いること ・1～100の数唱、順序、個数 ○加減乗除のごく初歩 ・生活の中にある加減乗除	・具体物を指しながら数える。 ・「全部で幾つ」「幾つ足りない」「〇個ずつ配る」など、生活場面を想定しながら行う。	③ ④

【デイリー・カリキュラム】

月	単元名	指導内容	主な学習活動	評価の観点
通年	「暦に親しもう」 【実務】	◎暦 ・1週間 ・昨日、今日、明日 ・登校日（黒字）と休日（赤字）の区別、理解	・カレンダーで「今日」の位置に丸型マグネットを貼る。 ・カレンダーで日付と曜日を確認し、記録シートに書き込む。 ・出来事と絡め、教師と一緒に昨日や明日などの話をする。	① ③ ①